

SSH卒業生アンケート … 回答は、この用紙(表面と裏面)にお願いします。

本校HP「SSH卒業生アンケート」から、回答していただくこともできます。

回生 氏名 現在の所属(:学年 大学 学部 学科 研究室名など :社名 配属部署など)を記入してください。

回生	氏名	所属
来年度の所属をわかれれば記入してください。(:〇〇大学、大学院 〇〇研究科進学予定、留学等の予定など)		
回生がわからなければ空白でもかまいません		

I 高校時代にSSH事業を経験したこと、大学等において効果、成果があったと感じたことを以下の質問について次の尺度に当てはめ番号で回答してください。

尺度	番号
質問事項にあてはまる・あてまる方だ(効果・成果があった・ある方だ)	1
質問事項にあてはまるかどうかわからない(効果・成果があつたかよくわからない)	2
質問事項にあてはまらない(効果・成果が無かった)	3

- (他の学生とは、SSHプログラムを受けていない自分の周りの一般的な大学生などを指します)
- | | |
|--|----------|
| 質問1 他の学生に比べて、該当分野(自分が理数科の授業や課題研究等で扱った分野)の知識が充実している方である。 | 番号
1 |
| 質問2 他の学生に比べて、「事実」と「意見・考察」、「既知」と「課題」の区別ができる方である。 | 番号
2 |
| 質問3 他の学生に比べて、自らの課題(レポートや研究など)に対して意欲的に取り組むことができる方である。 | 番号
3 |
| 質問4 他の学生に比べて、問題の関連から取り組む順序(計画性をもつ)を考えることができる方である。 | 番号
4 |
| 質問5 他の学生に比べて、データの構造化(メモ、箇条書き分類・図式化など)や分析や考察のため適切な機器やソフトウェアを使うことができる方である。 | 番号
5 |
| 質問6 他の学生に比べて、実験器具などを正しく扱うことができる方である。 | 番号
6 |
| 質問7 他の学生に比べて、論文やレポートをうまく仕上げる(形式を整えるなど)ことができる方である。 | 番号
7 |
| 質問8 他の学生に比べて、該当分野(興味ある分野や調べなければならない分野)について論文や専門書を探すことができる方である。 | 番号
8 |
| 質問9 他の学生に比べて、自然科学関連のプログラム(講演会・発表会・勉強会等)に積極的な方である。 | 番号
9 |
| 質問10 他の学生に比べて、その場や会において自分の役割を理解した行動をする方であり、役割を果たすことができる方である。 | 番号
10 |
| 質問11 他の学生に比べ、発表活動(口頭、ポスター、レポートなど)に積極的な方である。 | 番号
11 |
| 質問12 他の学生に比べて、発表活動において効果的な資料が作れる方である。 | 番号
12 |
| 質問13 他の学生に比べて、発表活動時、聞き手の印象に残る工夫(メモを見ない、ジェスチャーを交えるなど)をする方である。 | 番号
13 |
| 質問14 他の学生に比べて、疑問点などについての質問を積極的にする方である。 | 番号
14 |
| 質問15 他の学生に比べて、議論する場で発言するなど、議論をリードする方である。 | 番号
15 |

II 高校時代体験した SSH 事業の中で、現在の自分にとって最も影響を与えたと思うもの、他の生徒に比べ力がついたと思えるものを1つ上げて、どのような影響を与えたか(例 SSH 特別講義:進路選択の指針となった等)。どのような力が身についたか(例 科学英語の発表:人前での発表が苦にならなくなった等)。などを記述してください。

SSH事業とは

- ・サイエンス入門、課題研究、科学英語など主に校内での実験、研究、発表(校内での各種発表会:プログレスレポート・中間発表・課題研究発表会・科学英語での発表会)に関わるもの。レポート作成、ポスターや論文の作成、プレゼンテーションの練習などを含む
- ・サイエンツツアー(東大、筑波、京大、阪大や神戸での理化学研究所や産業フェスタなど)、臨海実習、サイエンスフェアなどの校外へ出ての見学や実習
- ・校外での発表活動 サイエンスフェアや各種学会などの発表への参加やその準備
- ・SSH特別講義 放課後などに行った専門家の講演や専門家からの指導
- ・海外の姉妹校との交流などの国際交流(ラッフルズ訪問、来校、チャタム来校時等)
- ・理数数学、理数物理、理数化学、理数生物など総合理学科の専門科目の授業

SSH 事業

影響、身についた力

III 高校時代 SSH・総合理学科でこのような企画があれば大学へ進学してから、将来科学技術に携わることになってから有効であると考えられる企画があれば記入してください。

IV 卒業後、学会などの発表や文科省やJSTなどの事業(派遣や研究活動など)に参加した経験があればそれについて以下の空白に記入してください。(学会名・何年次などを記入)
また、学会等での受賞歴、研究費(競争的資金等)の獲得、その他のエピソードなどなどがあれば記入してください。

ご協力ありがとうございます。

今後、E メールで連絡ができるよう、

神戸高校総合理学科メール kobe-hs-sa@hyogo-c.ed.jp まで、

回生、氏名を記した空メールを送っていただければありがたいです。

これらの個人情報は、神戸高校 SSH 事業、卒業生アンケートと SSH 卒業生への連絡のみに使用します。